

思春期保健ネットワーク Vol. 16

ニュースレター

平成30年3月号



発行：八千代市思春期保健ネットワーク会議
問い合わせ：事務局（八千代市母子保健課）
☎047-486-7250

平成29年度思春期保健シンポジウム「10代の生と性 第11回」を開催

平成30年1月28日（日）八千代市総合生涯学習プラザで思春期保健シンポジウムを開催しました。

今年のテーマは「『大切ないのち・大切なからだ』～小・中学生に伝えている生と性の健康講座を保護者にも伝えたい～」で、千葉県助産師会習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会の大谷理恵氏と鶴岡利江子氏をお招きして開催しました。小学生向けと中学生向けの2部構成で、実際に子どもたちに講演する形式で展開され、あっという間に参加した子どもも大人も引き込まれていました。当日シンポジウムにご来場いただけなかった皆様にもシンポジウムの様子をお届けしたいと思います。

講演「大切ないのち・大切なからだ」 ～小・中学生に伝えている生と性の健康講座を保護者にも伝えたい～

講師 （一社）千葉県助産師会習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会

会長 大谷 理恵氏

会員 鶴岡 利江子氏



大谷理恵氏 病院や助産院でのお産に携わりながら、思春期保健相談士として地域の小学校でいのちの講座を実施。



鶴岡利江子氏：勤務施設で妊産婦さんと過ごす時間を大切にしつつ、いのちの大切さを伝える講座や性の健康を伝える講座を幼稚園・小中学校・PTA 家庭教育学級等で実施。

第1部「小学生向け 大切ないのち」

冒頭で、「この話は男子と女子の違いということだけでなく、一人ひとりとは違うこと、違って良いことを前提に、男子も女子も一緒に聞いてほしい。それは自分も分かって相手のことも分かるから、そして分かることで友達の相談にも乗れるようになるから。」と伝えられて男子と女子の体の仕組みの話から始まります。

＜自分自身を大切にするためのポイント＞

- ・プライベートゾーン（水着で隠れる部分と口）は、家族であっても勝手に見たり触ったりしてはいけない場所。プライベートゾーンを触ったり見せる人に会ったら「イヤ！」と大声を出して逃げる。
- ・体には正しい名称がある。大切な場所だから笑ったりしないでほしい。正しい名称やしくみを覚えることで困ったときに相談できる。

＜「いのち」の話＞

- ・用意された資料で「いのちのもと」（受精卵）の大きさを確認。そこから母親の胎内で育つ赤ちゃんを模型で提示しながら一緒に誕生までの成長を確認。生まれるときの赤ちゃんの苦しさを30秒間息を止めて皆で体験した後、最後は大きな子宮の模型から赤ちゃんが生まれ出てくる場面を見て、出産直後の赤ちゃんの泣き声が響き誕生を共有した。

最後には、人は生きる力や育つ力がある、命がけて生んでくれた人といのちがけて生まれた人がいた、生まれてくることで周りを幸せにした。だから1つしかない自分のいのちを大切に他人のいのちも大切にしてほしいとのメッセージが送られました。

男の子と女の子の人形が並んでいるタペストリーや体の仕組みが分かる模型。クイズ形式で会場とのやり取りしながら話します。



赤ちゃん誕生！



ふわふわで温かい子宮。



誕生！

第2部「中学生向け 大切なからだ」

パワーポイントを使用しながらの講演。お互いの理解のために、性別を問わず一緒に話を聞くことの大切さを語り掛けてから話が始まります。

<体の仕組みといのちの誕生>

- ・小学生に伝えている内容を中学生向けにして、受精卵の話から妊娠のことにも触れる。
- ・陣痛に耐える母親の表情が紹介され、出産直後の赤ちゃんの泣き声を聞く。生まれるときに命を懸けた人がいて、あなたも生まれる時に命懸けで生まれたことを知って欲しい。あなたはあなたで良い。

<誕生日は「いのちの記念日」>

- ・たくさんの方があなたの世話をしてきたことや大切に思っていること、隣の人と同じように大切である。

自分の命をなくさない、人の命をとらない、いじめをしないでほしいとのメッセージ。

「あなたはあなたとして生まれてきた。生き方も自分で決めていく」と伝えられます。また、性の多様性やプライベートゾーンについても触れて、自分の体は自分で守ること、痛い・痒いは治療を受けられるのだと伝えます。その他、ホルモンの年齢的变化やそれに応じた体と心の変化についての説明や性交と避妊、緊急避妊、性感染症、デートDVについてなど、どのように伝えるか紹介されました。

最後には自分の気持ちを出せることは大切で、あなたの心と体を守りながら相談しながら悩みながら大人になってほしいと伝えられました。

～会場へのメッセージ～

性の健康教育は、より良く生きるために必要な知識。大人は健康管理の視点で理解を深めて、子どもから相談される存在でいてほしい。子どもは成長に応じて知識を身につけていってほしい。

《アンケートより》

- ・深い話に感動した。心に響いた。生きることは素晴らしいと思った。
- ・子どもが成長したら聞かせたい。
- ・子どもと参加したが、楽しく最後まで聞くことができた。
- ・思春期の息子がいるので、話を聞くことから始めたい。
- ・子ども達の性を大切にすることを伝えていることが分かった。

アンケートのご協力ありがとうございました。

9割以上の方から参考になったと回答をいただきました。ご意見の一部を抜粋します。

思春期保健ネットワーク 11年間の活動



平成18年8月、「10代の生と性」の課題に取り組むため、小さな一歩を歩み始めた「八千代市思春期保健ネットワーク会議」も11年を経過しました。性教育を単なる「性知識の伝達」だけに終わらせることなく、広く「人間教育」として捉え、八千代市の子どもたちが、自己を肯定し、仲間やパートナーを大切に、思いやりを持った素敵な大人に成長してくれることを願い、これまで活動してきました。思春期保健ネットワーク会議の主な活動を簡単に紹介いたします。

学校での実践を支援！！

八千代市オリジナル教材の作成

市内の中学校保健体育科教諭や養護教諭を中心に、中学3年生で学習する「性感染症予防・エイズ予防」の授業で活用できるようなオリジナル教材を作成しました。

教材外部講師リスト作成

小中学校の「生と性の教育」実践に役立てていただくために、八千代市母子保健課や紙面調査で賛同いただけた小中学校が所有している教材等の情報をリスト化し、学校間でやり取りできるようにしました。

子どもへの正しい知識の提供！！

中学生向けリーフレットの作成

性に関する情報がインターネット上で氾濫している昨今、子ども達に正しい情報を得られる機関や相談先を紹介したいという思いで作成しました。

大人の学ぶを支援！！

ニュースレターの発行

保護者や教員の皆様に、思春期保健シンポジウムの様子や思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的にニュースレターを発行しています。 ※バックナンバーは下記の八千代市HPからダウンロードできます

思春期保健シンポジウムの開催

- 第1回「家庭・学校・地域でできることを考える」
- 第2回「家庭・学校・地域でできること」
- 第3回「市内校の実践から学ぶ思春期の子どもたちへの性と生の教育」
- 第4回「私達、大人が子どもたちにできること」
- 第5回「家庭・学校・地域のつながり、そして、親子のコミュニケーション」
- 第6回「親になった今こそ受けたい！いのちの授業 ～思春期向け、生と性の教育～」
- 第7回「オヤジも聞こう！ バック・トゥ・ザ・思春期 ～男子のこころとからだ～」
- 第8回「目からウロコリアルボイス～当事者の声から知る思春期の生と性～」
- 第9回「知っておこう！イマドキ思春期と性教育」
- 第10回「あなたのお子さんが被害者かも…～スマホの恐さについて～」

シンポジウムでは、思春期の生と性に関する現状や課題について様々な話題を取り上げています。内容はニュースレターに掲載しているのでは是非ご覧ください。

八千代市役所ホームページ「ホーム」→「くらしの情報」→「妊娠・出産・子育て」→「母子保健課」→「組織活動」→八千代市思春期保健ネットワーク会議

